

読書と学力と学校図書館

2010年8月17日 県大サテライトキャンパス

県大 教授 木幡洋子

1) 学校教育と読書

読書活動とは

読書活動は、一人ひとりの主体的な学習活動において、情報や知識を収集し理解して、それを組織立てて利用するいわば知識の生成と、その過程で行われる読書という活動とをいうのである。(下線部は情報リテラシー概念類似の概念)

『小学校、中学校における読書活動とその指導』 1987年文部省刊より

学校図書館の活動とは

- ①読書活動の指導の計画立案
- ②精選された読書資料の準備と提供
- ③読書活動の場の準備と読書環境の整備
- ④児童生徒の読書活動の指導

『小学校、中学校における読書活動とその指導』 1987年文部省刊より

学校図書館の役割と読書

- ①学校図書館は、科目を超えた読書の力を養う場
- ②学校図書館は、子どもの読む権利保障のための基礎的な場
- ③学校図書館は、学校教育の心臓部であり、エンジン

2) 学力低下と読書

OECDによる第二回PISA調査

日本の15歳の子どもの読解力が14位に

「日本の15歳“学力トップ”陥落」

読売新聞 2004年12月7日見出し

PISAの結果を踏まえた文部科学省による指導改善のための文書

読解力は学校の教育活動全体で身につけていくべきもの

教科の枠を超えた共通の理解と取組みの推進が重要

学力不振に対するベルギーの反省

ほとんどの学校で司書が配置されておらず、公共図書館も課程外教育を支えるには貧弱すぎた・・・学校は読書に十分な位置づけを行っていなかった。

3) 読書と脳科学

読書による前頭前野の活性化

知・情・意の発達を促し、キレル・無気力を減少させ、「生きる力」を育てる。

読書は教育の目標達成にとって不可欠のツール

4) PISA と読解力

PISA とは

2000 年から OECD により実施されている

読解力・数学的リテラシー・科学的リテラシー

における学力調査

PISA における読解力の定義

読解力とは、自らの目標を達成し

自らの知識と可能性を発達させ

効果的に社会に参加するために書かれたテキストを理解し

利用し、熟考する能力

PISA の目的

変化している社会において各国がどのように対応しているかを国際比較によって明らかにする。

「PISA 読解力 (reading literacy)」の意味

最低レベルの技能としての識字(literacy)ではなく、

将来、子どもたちがそれぞれのコミュニティに積極的に参加することができる

ための手段あるいは道具

[まとめと提案]

まとめ

1. 情報社会における学力の根幹としての読書力

* 批判的解読能力 * 情報選別能力

2. 情報社会の読書力とは広範な情報処理能力

提案

1. 総合的な読書力を育成する図書館利用の試み

2. 現代社会に対する広い視野を持った読書指導

3. 「読み物読書」から「情報解読読書」へ